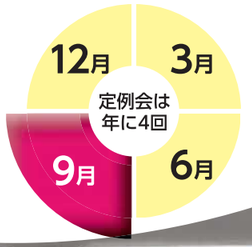
やまが 市議会だより

Yamaga City council News



第53号
2026.11.1発行



やまがの未来を創る、最適なカタチを探して

～8月20日 議員研修会開催～

もくじ

議会報告会 …… 2
委員会レポート …… 3
決算 …… 5
一般質問 市政のここが聞きたい … 6
議決結果賛否表・討論 ……12
議会をCheck!
議会の主な動き・編集後記 …14

山鹿市議会だより
Yamaga City council News
No. 53
2026.11
発行・編集 山鹿市議会事務局 〒861-0592 熊本県山鹿市山鹿987-3 ☎0968(43)1634

UD FONT by MORISAWA

VEGETABLE OIL INK 山鹿市議会だよりは地球にやさしい「植物油インキ」を使用しております。

議会をcheck!

議会傍聴意見感想

9月定例会
傍聴席からこんな声をいただきました。
今回はその中の一部をご紹介します。
貴重なご意見ありがとうございました。

- 初めて傍聴しました。議会だよりで文章は見ていましたが、現場の雰囲気が分かっておらず、絶対に来たほうがよいと思いました。議員さんの意見に対して自分で考えて母と話しながら聞いていました。楽しかったです。（50代）

- 議員さん方も色々勉強され、意見を出されていてありがたいと思いました。財政について目を光らせていただきたい。
モニターに字幕がつけられてるのはいいですね。議場だけなのがなぜか分かりませんが、試行中なのでしょうか。（50代）

- 初めて来ました。私達の思いを正しく質問されている姿に感動しました。すごくよかったです。（70代）

議会の主な動き

7月	6日	月	山鹿市学校給食共同調理場新築工事起工式
	9日	木	総務文教委員会行政視察（～１０日）
			行政視察受け入れ（茨城県笠間市）
	10日	金	行政視察受け入れ（群馬県太田市）
	16日	木	全員協議会
	23日	木	百歳到達者表敬訪問
8月	3日	月	広報広聴委員会
	13日	木	百歳到達者表敬訪問
	20日	木	広報広聴委員会
			議員定数に関する研修会
	21日	金	議会運営委員会
	24日	月	熊本県知事への要望活動
	28日	金	９月定例会開会・全員協議会
9月	4日	金	９月定例会質疑・委員会付託・予算決算委員会
	7日	月	予算決算委員会・広報広聴委員会
	8日	火	一般質問
	9日	水	一般質問
	10日	木	建設経済委員会
	11日	金	市民福祉委員会
	14日	月	総務文教委員会
	15日	火	予算決算委員会
	16日	水	百歳到達者表敬訪問
	17日	木	議会運営委員会
	18日	金	9月定例会閉会・全員協議会
			広報広聴委員会

次回の定例会は

12月1日(火)
開会の予定です。
都合により変更となることがあります。

月	火	水	木	金	土	日
11/23	24 議会運営委員会	25	26	27	28	29
30	12/1 開会日	2	3	4	5	6
7	8 予算決算委員会	9 予算決算委員会	10 一般質問	11 一般質問	12	13
14 建設経済委員会	15 市民福祉委員会	16 総務文教委員会	17 予算決算委員会	18	19	20
21 議会運営委員会	22 閉会日	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1/1 元旦	2	3



キャラクターデザイン
飛松 良輔（とびまつ りょうすけ） 山鹿市出身
日本の漫画家。
2021年、小学館「ビッグコミック」にてバスケットボール漫画『Deep3』（原作：水野光博）を連載。その他の作品に『ブルタックル』『天を射る』（原作：西荻弓絵）など。

編集後記

7月28日に発災した熊本地震に続き、千葉県、富山県、石川県、福井県で豪雨災害が相次ぎ、報道される被災地の様子に胸が締め付けられる夏でした。そんな中、山鹿中学校出身二人の甲子園での活躍は、熊本ばかりではなく全国に勇気と元気を届けてくれました。お二人のさらなる活躍を祈念いたします。

今議会では、6議員が防災関連について一般質問で取り上げ確認・提案しました。いつ発生するか分からない災害に向け、市民のみなさんと意見交換しながら命を守る取り組みを進めていきたいと私も考えています。

また、閉会日には二つの議案に対して、賛成・反対の討論が活発に交わされました。議案に対する多様な考えが、市民のみなさんにも示されていると思います。今年度の議会報告会を、10月末広見研修センターを皮切りに6カ所で開催します。多くのみなさんのご参加お待ちしております。

芋生 よしや

広報広聴委員会
芋生 よしや　古家 茂臣
小林 文江　髙松 佳美
北原 和智　工藤 彩友美



委員会レポート Report

9/10 開催 建設経済委員会

◎金光一誠　○古川和博　服部香代
芋生よしや　高橋龍一　北原和智

上下水道料金減免

水道事業3,005万4千円
下水道事業5,952万3千円

今回の補正予算は、長期化する物価高騰の影響を受ける市民生活の負担軽減を図るため、国の重点支援地方創生臨時交付金を活用し、上下水道基本料金を減免するもので、期間は令和8年12月から令和9年1月までの2か月間。上下水道を利用する市民のみが対象となるが、物価高騰に対する例外的な緊急措置として、総合的に判断した。

【現地調査】

下水道事業会計補正予算（工事請負費）



（山鹿市泉町：大口径管渠の対応について）

その他 主な審査事項

- ●令和8年度　山鹿市工業団地整備事業特別会計補正予算
- ●令和7年度　水道事業会計決算
- ●令和7年度　下水道事業会計決算
- ●令和7年度　農業集落排水事業会計決算

地域クーポン券発行

やまが観光応援事業6,500万円

令和8年熊本地震の影響により、市内の観光事業者にも大きな影響が生じていることを勘案し、市内宿泊者へ地域クーポン券（一人当たり休日 千円、平日 二千円）配布を通じて周遊観光と市内消費の活性化を図り、観光業関係産業全体の売上回復につなげる。期間は令和8年12月から令和9年2月までとし、市内の各宿泊施設にて配布、無くなり次第終了するとの報告があった。

9/11 開催 市民福祉委員会

◎限部賢治　○山下誠治　小川榮二
豊田新二郎　小林文江　髙松佳美

継続審査に決定

加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を求める請願

加齢性難聴は、高齢者の社会的孤立や認知機能の低下につながるおそれがある。また、補聴器は高額で購入時の負担が大きいことから、高齢者が安心して社会参加し、自立した生活を送れるよう、市独自の購入費助成制度の創設を求めるもの。

加齢性難聴による社会参加や日常生活への影響から、補聴器購入への支援の必要性は十分理解するとの意見があった。

一方、令和7年12月定例会では、国の公的支援制度の創設を求める意見書を全会一致で採択している。

今後は県内自治体の助成実績や財源、国・県の動向など、さらに調査・検証が必要との意見が出され、継続審査とすべきものと決した。



その他 主な審査事項

- ●市民医療センター使用料及び手数料条例の一部改正
- ●ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例及び子ども医療費助成に関する条例の一部改正

山鹿市議会議会報告会



議員と語ろう

ご参加お待ちしております！

～市民が参画できる開かれた議会へ～

今回は、市民の皆さまの様々なご意見を議員が直接お伺いします。
ご都合に合わせてご参加ください。
山鹿の未来を議員と一緒に語りましょう！

議会報告会会場

1. 令和8年**10月30日**(金)19:00～
   会場：広見研修センター（鹿北）
2. 令和8年**11月5日**(木)19:00～
   会場：鹿本市民センター（ひだまり）
3. 令和8年**11月13日**(金)19:00～
   会場：霊仙交流センター（三玉）
4. 令和8年**11月14日**(土)13:30～
   会場：菊鹿公民館
5. 令和8年**11月19日**(木)19:00～
   会場：平小城公民館
6. 令和8年**11月20日**(金)19:00～
   会場：鹿央市民センター

議会報告会プログラム

- ●開会
- ●議長挨拶
- ●議員自己紹介
- ●グループディスカッション
- ●グループ報告
- ●議員定数について
  （市民からのご意見）
- ●閉会

合計90分を予定しています。

決算認定 令和7年度 市のお金の使い方をチェック

決算の流れ

年度の締め切り
令和7年4月1日から令和8年3月31日を1年の区切りとします。

↓

決算審査
監査委員が決算書や付属書類を審査し、意見書を作成します。

↓

議会で審議
市長から提出された決算書・監査委員の意見書、主要施策成果説明書をもとに予算決算委員会で審議します。

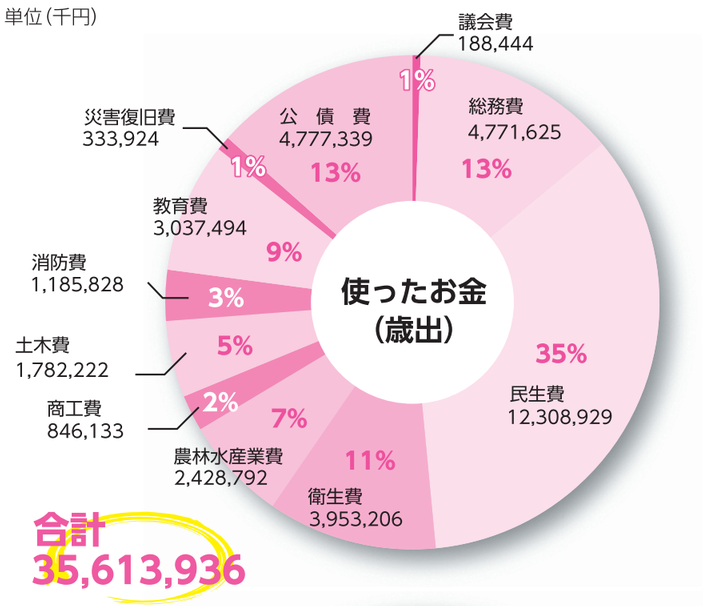
予算決算委員会からの意見

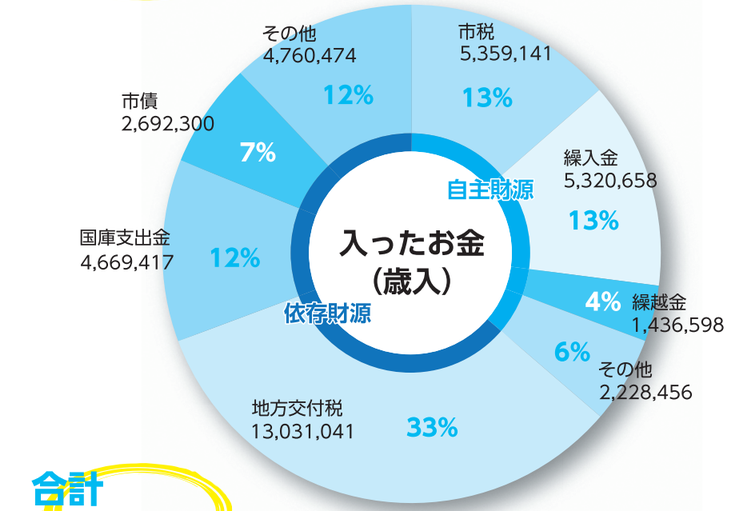
●物価高騰対策について該当しない市民もいる。今後は恩恵を受けない市民にも平等に行き届くような支援の在り方を検討するよう要望する。

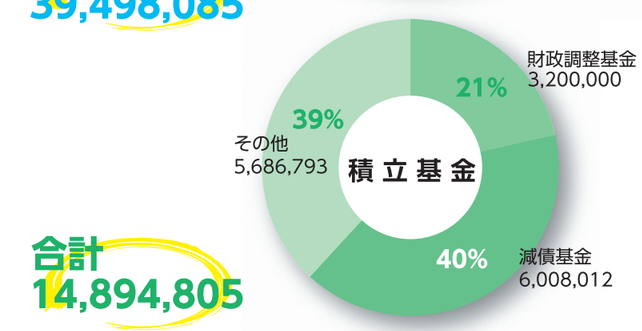
●工業団地整備事業などの大型で長期に及ぶ事業については、市民の関心も高いことから、今後は更なる事業進捗の情報発信に努めるよう要望する。

●決算書やその関係資料については、より詳細な説明や積算根拠を加えるなど、情報の充実に努めるよう要望する。

単位（千円）









委員会レポート Report

9/14 開催 総務文教委員会

◎松見眞一　○原　芳郎　永田紘二　勢田昭一
永田壮拡　古家茂臣　工藤彩友美

学校給食共同調理場厨房機器取得を否決

学校給食共同調理場の厨房機器一式を5億3，350万円で取得するもの。

整備の必要性については異論がなかったものの、購入方法を一般競争入札ではなく随意契約とする理由や、取得金額の妥当性、発注時期、契約方法について事前に十分な説明がなされていたのかなどについて質疑があった。

設計・施工・機器整備を同一業者に発注することで効率的な運営が可能となること、競争入札では費用が増大する可能性があることから随意契約としたとの説明があり、事前説明が不足していたことについて陳謝があった。

「市民の税金を使う以上、公平性・透明性を確保するため一般競争入札に付すべき」との意見や、「十分な競争性や価格の妥当性が客観的に検証されておらず、議会が判断するための説明と検証が尽くされていない」との反対意見が述べられ、採決の結果、賛成少数により否決。

【現地調査】
社会体育施設条例の一部改正


（鹿本町来民：鹿本体育館空調設備設置状況について）

その他主な審査事項

●消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例の一部改正

9/4,9/7 開催 予算決算委員会

ココを聞きました

環境保全対策事業

問 ①有機フッ素化合物の検査対象と基準値を超過した場合はどうなるのか。
②浄水器設置補助の対象世帯は。

答 ①自治公民館を検査対象にし、基準値を超過した場合は、その地点から半径500mに広げて飲用井戸水の水質検査を行う。
②今回、水質検査で基準値を超過した世帯等を対象に、10万円×100世帯を補正予算として計上している。



中高年就農研修支援事業

問 対象となる研修機関や研修内容について伺う。

答 県の認定機関である県立農業大学校やJA鹿本地域担い手育成センターで行い、令和8年度はミカン農家1名に120万円を支援する。



一般質問

議会だよりでは、紙面の都合上、一人一問の質問と答弁を質問者が要約・編集して掲載しています。

市政のここが聞きたい

一般質問とは議員が市政に関する提案や質問を行い、市の考えを問うもので、持ち時間は一人60分。

9月定例会の一般質問は、9月8日、9日の両日にわたり、11人の議員が行いました。

録画配信は議員氏名横の二次元バーコードからご覧いただけます。



高齢者支援

豊田 新二郎 議員

Q 身寄りのない高齢者・単身高齢者への支援は

高齢化が進み単身世帯が増える中、身寄りがなく、入院や施設入所時の手続き、財産管理、亡くなった後の対応などに不安を抱える高齢者の増加が懸念される。「身寄りがない」ことを理由に、必要な支援から取り残されることがあってはならない。見守りや相談、成年後見制度などの権利擁護、さらに元気なうちから将来に備える終活支援まで、安心して暮らし続けられる支援体制の充実について伺う。

A 関係機関と連携し支える

身寄りのない高齢者等には、民生委員や福祉協力員による見守りをはじめ、地域包括支援センターが相談に応じ、医療・介護などの関係機関と連携して必要な支援につなげる。判断能力が低下した方には成年後見制度の利用を支援し、親族による申し立てが困難な場合は市長申し立ても行う。今後も本人の意思が尊重されるよう、関係機関と情報共有・連携を図り、権利擁護支援を必要とする方へは確実に制度や支援が届く仕組みづくりに、取り組んでいく。

答弁者　福祉部長



身寄りのない高齢者・単身高齢者の様々な悩み

その他の質問

・大規模山林火災を踏まえた本市消防の災害対策について



学校体育館空調

小林 文江 議員

Q 学校体育館に空調整備を

①本市の避難所体制や要配慮者への対応は。また、今回の熊本地震を踏まえ、学校体育館の空調整備を防災対策の一つとして捉え、防災・福祉・財政などが連携して検討できないか。

②近年の猛暑を踏まえ、学校体育館の空調整備をどのような考え方、優先順位で進めるのか。また、令和13年度までとした根拠と国の財政支援の活用は。

A 防災の視点も踏まえ計画的な整備を予定

①災害に応じて避難所を開設し、要配慮者には個室や簡易ベッド等を確保するほか、福祉避難所とも連携している。学校体育館は災害時の避難所としての使用も想定されるため、空調整備については、関係部署と多角的な観点から検証する必要がある。

答弁者　総務部長

②児童生徒の安全な教育環境を最優先に、小学校から順次整備する。1校当たり設計1年、工事1年の約2年間を要するため、令和9年度に山鹿小学校、10・11年度に小学校各3校、12年度以降に中学校を順次整備し、令和13年度の完了を予定している。国の交付金や地方債を活用し、財政負担の軽減を図りながら整備を進める。

答弁者　教育部長





災害時の支援体制

服部 香代 議員

Q 災害時誰も取り残さない支援体制は

①災害時に保育園や放課後児童クラブが休園した際の子どもの居場所確保について、平時からNPOや社会福祉法人など民間団体と連携し必要に応じて協定締結を進めるべきではないか。

②停電時に人工呼吸器を使用する医療的ケア児等の電源確保について、現状の備えでは不安が残るため、非常用バッテリー貸与など市独自支援の具体化をする考えはないか。

③外国人住民への災害情報伝達について、分かりやすい情報提供、事業者・地域との連携強化、平時からの顔の見える関係づくりが必要ではないか。

A 災害対応の強化策と連携を進める

①災害時には臨時託児所を開設し専門職を配置した臨時の託児所を開設することが想定される。また民間団体との連携や協定締結は有効であり調査・研究を進める。

②医療的ケア児等の電源確保については、現状の備えでは不安が残るとの認識がある。関係機関や家族の意見を踏まえ支援策の仕組みづくりに向けて検討を進める。

答弁者　福祉部長

③外国人住民への情報伝達では、多言語化ややさしい日本語の活用、地域・事業者との連携、防災訓練への参加促進などを進める方針である。

答弁者　総務部長



質問議員	質問趣旨	掲載
豊田 新二郎	身寄りのない高齢者・単身高齢者への支援は	P6
小林 文江	学校体育館に空調整備を	P7
服部 香代	災害時誰も取り残さない支援体制は	P7
北原 和智	人工林の伐採届け出に対する指導内容は	P8
髙松 佳美	災害時における人的受援体制と水の確保は	P8
金光 一誠	物産館の運営方針は	P9
隈部 賢治	浄水器設置補助への対応は	P9
古家 茂臣	道の駅指定管理の現状と今後の方針は	P10
芋生 よしや	スフィア基準に沿った対応連携は	P10
勢田 昭一	老朽化が進む市立博物館の再整備は	P11
高橋 龍一	湯ノ口ため池・不動岩一帯を地域資源として生かせぬか	P11

浄水器設置補助



隈部 賢治 議員

Q 浄水器設置補助への対応は

浄水器メーカー6社によるプレゼンテーションは、住民が性能やPFASへの対応、設置費用、維持管理などを比較・検討し、自身の判断で浄水器を選択するためのものだったのか。

また、浄水器設置補助についてどのように対応されるのか。

A 新たに設置費用、水質検査費用等も対象

プレゼンテーションの目的は、住民が浄水器の性能や設置費用、維持管理等を確認し、適切な選択をするためのもの。

補助額10万円については、当時の浄水器1台の見積額が20万円程と聞いており、令和8年度においては、プレゼンテーションに参加した6社の平均額も20万円程となっている。なお、新規の設置費用、水質検査費用等も対象としている。

答弁者　市民部長



その他の質問

・これまでの焼却施設について

物産館の民営化



金光 一誠 議員

Q 物産館の運営方針は

山鹿市には、4つの物産館があり、地域経済の活性化に寄与してきたが、社会経済状況も変化し、物産館の老朽化による修繕等の維持費が増加している。

近隣にできた農産物直売所との競合による売上減少などにより、第3セクターの運営にも支障を来しており、水辺プラザかもと、小栗郷とも営業利益は赤字で非常に厳しい経営状況となっている。今後の民営化に向けた取り組みについて問う。

A 地域住民に配慮し完全民営化を目指す

財政面や施設の将来の在り方については、本市が抱える極めて重要な課題であり、最終的には完全民営化を目指すという方針の下、今後は民間主導による形態についても慎重に検討し、計画的な取り組みを進めていくことが重要であると判断しており、地域住民への影響を十分に配慮しながら進めていく。

答弁者　市長



その他の質問

・災害時の避難所設置について
・まちなかグランドデザインについて

災害時の人的支援

髙松 佳美 議員
公明党



Q 災害時における人的受援体制と水の確保は

①人的支援の受け入れを想定した訓練を行ってきたのか。また、受援計画を改めて点検する考えはあるのか。

②現時点での上水道地域と井戸利用世帯の実態はどのようになっているのか。大規模断水となった場合の給水対応はどのように行うのか。飲料水だけでなく生活用水を確保するため、「災害時協力井戸」の登録制度などを検討できないか。

A マニュアルを点検・見直し、応急給水活動を展開

①現在、応援職員の受け入れに関する人的訓練は実施できていない。今後、被災地派遣職員の報告内容を取りまとめ、実践的な人的訓練の実施を含め、受援マニュアルの定期的な点検・見直しに努める。

答弁者　総務部長

②令和7年度末の上水道普及率は約62％で、残りの約38％は自家用井戸等を使用し、生活用水を確保している。断水となった場合、被災箇所に給水車や給水タンクを配備するなど、応急給水活動を展開する。

答弁者　水道局長

現時点で登録井戸制度の導入について考えていないが、地域で井戸を把握する取り組みが進むよう啓発活動を行う。



答弁者　総務部長

その他の質問

・本市の歴史文化資産の発信と次世代への継承について（博物館の在り方）
・帯状疱疹ワクチン定期接種開始後の現状と今後の支援について

人工林伐採

北原 和智 議員



Q 人工林の伐採届け出に対する指導内容は

伐採適齢期を迎えた人工林の伐採届け出について、適合通知までの事務処理要領と指導内容は

A 届け出内容の確認と必要な指導を徹底し、適正な管理に努める

森林法に基づく届出書を受け付け、位置図、本人確認書類、土地所有者確認書類、境界関係書類などの必要書類を確認している。その上で、令和8年4月に山鹿市伐採及び伐採後の造林の届出書等に関する取扱要領を制定し、伐採者による適切な伐採活動の実施意思を確認する自主行動規範、森林所有者等の意思を確認する誓約書の提出を求めている。さらに必要に応じて、地元区長などへの説明状況が分かる説明報告書や、公道管理者、河川管理者など関係施設管理者との協議書の提出も求めている。

これらの書類を確認した上で、山鹿市森林整備計画に適合しているかを審査し、不足がある場合は補正を求め、適正と認められたものについて適合した旨を通知している。

今後も、届け出内容の適正な確認と必要な指導を徹底し、伐採を巡るトラブルの防止と森林の適正な管理につなげていく。

答弁者　農林部長



その他の質問

・森林環境譲与税の新たな活用は
・市有林の管理状況と今後の展望は



山鹿市の地域遺産

高橋 龍一 議員

Q 湯ノ口ため池・不動岩一帯を地域資源として生かせぬか

昨年9月に湯ノ口ため池・井手が世界かんがい施設遺産に認定登録された。地元に生まれ育った者にとって特別な施設であることから、これまで大切に守ってきたことが評価されたことは大変名誉なことである。一方で近隣の不動岩には、テレビ放送もあり訪れる方が多いことから、周辺一帯を山鹿市の地域資源として生かす方法はないだろうか。今後の振興策について伺う。

A 農業用施設の保全と防災力強化、情報発信を行う

同ため池は、先人たちが卓越した技術と並々ならぬ努力によって築造された施設であり、本市の農業生産と農村環境を豊かに支え続けてきた。それに加え施設の維持管理に努めてきた地元農業者や地域住民の献身が評価されたもので、今回の登録を未来へ継承し、地域づくりに生かす新たな出発点としたいと考えている。今後の振興策として第一に農業用施設としての保全と防災力の強化、第二に地域資源としての活用と情報発信を行っていく。

答弁者　農林部長



湯ノ口ため池（山鹿市蒲生）
※写真提供者：写真作家 上野 弘喜 氏

その他の質問

・公営住宅の包括管理について
・学校給食について



博物館再整備

勢田 昭一 議員

Q 老朽化が進む市立博物館の再整備は

建設されて48年経過、老朽化などの課題がある。そこで、博物館の再整備が実現しない課題をどのように考えるのかを問う。

A 基本的方針は未確定

再整備については、施設を改修するか、新たに建設するかの基本的な方針が未確定の状況にある。

改修による対応の場合は既存施設の制約条件の中での対応になり、バリアフリー化や収蔵スペース拡充などの課題解決に限界を生じる可能性がある。

新規建設による対応の場合は場所の選定のほか、多額の事業費と事業完了まで長時間を要することになる。

答弁者　教育部長



山鹿市立博物館（山鹿市鍋田）

その他の質問

・障害者雇用について



防災の対応

芋生 よしや 議員
日本共産党

Q スフィア基準に沿った対応連携は

①人道憲章と人道対応に関する最低基準に沿った居住空間確保、食料備蓄等企業連携は。
②高齢者避難時にも簡易ベッドは使用できないか。
③水・トイレの確保・連携が重要と考えるがどうか。
④井戸水の活用、電源の確保など現状は。

A 人間の尊厳と安全の確保で対応

①居住空間確保など避難所指定・整備を進め、令和7年3月備蓄計画を改定した。ワンタッチ簡易テントおよび簡易ベッドを導入し、環境改善に取り組んでいる。避難者のプライバシー確保、女性への配慮、感染症対策を実施し、「人間の尊厳」と「安全」の確保に向けた対応を進めている。令和8年8月末現在、33件の相互応援協定を締結し、災害時には協力体制を構築して、迅速な情報共有を図っている。
②ベッド等の利用は、係員が積極的に声をかけ、避難者が安全に利用できるよう支援する。
③備蓄水の困難も想定し、災害協定での受援体制の充実を図る。停電や断水時の確保には、簡易トイレの備蓄が必要と認識している。
④自主防災組織に、発電機や蓄電池等の支援を行うことで、必要な電力を得ることが可能。



答弁者　総務部長

【過去の議会でも質問】
H29.30年9月、
H30年12月、
R元年9月、
R3年6月、
R4.R6.R7年9月議会

その他の質問

・介護保険保険者努力支援交付金について



道の駅の今後

古家 茂臣 議員

Q 道の駅指定管理の現状と今後の方針は

「水辺プラザかもと」「小栗郷」両道の駅とも、地域の交流・振興の拠点として重要な施設である。しかし、昨年度の経営収支は両駅とも市が負担する指定管理料それぞれ約1,000万円、2,000万円を含めた全体収支は黒字であるが、営業利益のみでは赤字である。今後このまま指定管理が維持されるのか、それとも民間移譲等、他の方法も検討されていくのか。

A 将来的な方向性として自立経営を目指す

指定管理料を含めた全体収支としては黒字を確保している。純粋な営業ベースでは赤字になっているが、施設の持つ公共性やサービス提供の性格上、指定管理料の投入は必要経費と考える。次期指定管理期間は指定管理者による施設運営を継続するが、将来の方向性としては「民営化」を基本方針に掲げ、実現に向けた対応を進めていく。今後は施設の設立経緯や地域住民の皆様への影響を十分に配慮し、安定した自立経営の実現を目指す。

答弁者　農林部長



道の駅 水辺プラザかもと
（鹿本町梶屋）



道の駅 小栗郷
（鹿北町岩野）

令和8年（第5回）9月定例議会における審議結果表

全会一致で原案可決等された議案

条例	山鹿市認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	その他の議案	財産の取得について（高規格救急自動車）
	山鹿市下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例		訴えの提起について（工業団地整備事業に係る抵当権抹消登記請求）
	山鹿市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	決算	令和7年度山鹿市工業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	山鹿市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例		令和7年度六郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
補正予算	令和8年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		令和7年度城北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和8年度山鹿市工業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）		令和7年度稲田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和8年度山鹿市水道事業会計補正予算（第1号）		令和7年度山鹿市水道事業会計決算の認定について
	令和8年度山鹿市病院事業会計補正予算（第1号）		令和7年度山鹿市病院事業会計決算の認定について
	令和8年度山鹿市下水道事業会計補正予算（第1号）		令和7年度山鹿市下水道事業会計決算の認定について
	令和8年度山鹿市一般会計補正予算（第4号）		令和7年度山鹿市農業集落排水事業会計決算の認定について
請願	加齢性難聴者の認知症予防のために、補聴器購入に公的助成を求める請願（継続審査）		

賛否が分かれた議案

件名 ＼ 議員氏名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		工藤彩友美	北原和智	髙松佳美	小林文江	古家茂臣	永田壮拡	原芳郎	隈部賢治	高橋龍一	豊田新二郎	山下誠治	古川和博	金光一誠	松見真一	小川榮二	芋生よしや	勢田昭一	有働辰喜	服部香代	永田紘二
条例	山鹿市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例及び山鹿市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議長	○	○
条例	山鹿市社会体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
条例	山鹿市民医療センター使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
補正予算	令和8年度山鹿市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
議案	財産の取得について（学校給食共同調理場厨房機器）	●	●	○	○	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	●		○	●
決算	令和7年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
決算	令和7年度山鹿市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
決算	令和7年度山鹿市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
決算	令和7年度山鹿市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		○	○
意見書案	非核三原則の堅持を求める意見書	●	●	○	●	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○		●	○

○は賛成　●は反対　欠は欠席　議長は採決に加わりません

反対討論　芋生よしや

ひとり親家庭等医療費助成条例及び子ども医療費助成条例の一部改正

受給資格確認に対しマイナ保険証へのひも付け、利用範囲拡大とするもの。通信インフラ遮断で利用できなくなる不具合やリスクがあり反対。

社会体育施設条例の一部改正

鹿本体育館エアコン使用料を1時間につき9，200円とするもの。電気料金に加え、設備投資費用も算定根拠にするとの説明。物価高騰は、市民生活に大きく影響している。公共施設維持管理や設置は、行政が公費で賄うべき基本的な福祉・インフラ。設備投資費用を利用者に転嫁すべきでない。利用しづらくなり、地域のつながりや社会教育の機会が奪われることにもなりかねず反対。

山鹿市民医療センター使用料及び手数料条例の一部改正

特別室使用料を引き上げるもの。物価高騰や人件費の上昇で、経営悪化は懸念するが、患者自己負担増で補填すべきではない。市民が安心して公的医療を受けられるよう、使用料の値上げに反対。

一般会計補正予算

条例改正で述べた理由で「ひとり親家庭等医療費助成事業49万3000円、子ども医療費助成事業49万3000円システム改修費」に反対。

一般会計歳入歳出決算

「マイナンバー関連の支出」は多分野の個人情報をひも付けし利用することが、プライバシー権の侵害の危険を持つ重大な問題。**「自衛隊への名簿提供」**自衛隊任務の危険性の高まりが示される中、名簿提出自治体が、9年ぶりに減少。各地で批判が高まり、損害賠償を求める訴訟が提起。住民批判で提供を取りやめた自治体もあり、中止すべき。**「フッ化物洗口」**は急性中毒、過敏症状の危険性があり、有効性も低い可能性がある。集団廃液で、水質汚濁防止法・下水法上の排水規制違反など環境汚染のおそれもあり、反対。

国民健康保険特別会計決算

加入者自身で支えるという制度の構造が限界で、国保加入者の命とくらしを守る観点から反対。

後期高齢者医療特別会計決算

年齢で他の世代から切り離し、際限のない負担増と差別医療を押し付けるもので、制度に反対。

介護保険特別会計決算

訪問介護の基本報酬削減で必要なサービスが受けられなくなる状況もあり、介護への信頼が損なわれてきている。負担増ではなく公費負担、利用料減免を実施すべきであり反対。



財産の取得（学校給食共同調理場厨房機器）

反対討論

永田 壮拡

厨房機器5億3,350万円の随意契約による取得は、厨房機器購入の価格競争は行われておらず、他社からの見積りも行われていない。多額の公金を支出する契約である以上、公平性・透明性を確保し、市民に疑念を抱かれることのない契約手続が求められる。競争入札を行わない法的要件を裏付ける客観的な根拠や価格の妥当性について、議会が責任をもって判断するに足る十分な検証が尽くされたとは判断できず、反対。

金光 一誠

5億3,350万円の詳細な設計書が出来上がっているが、プロポーザルの選定会議で評価された厨房機器購入見積上限額6億1,600万円に対して、選定業者の提案価格が一番高く、果たして高いのか安いのか見当がつかず、随意契約でよいのか判断がつかない。公共の調達は、公平性や透明性を保つ観点から、複数の業者に競わせる「競争入札」が原則であり、反対。

賛成討論

服部 香代

今回の随意契約は、契約に至るまでの進め方や議会への説明に十分ではない点があり、今後の大規模契約では、早い段階からの情報提供と丁寧な説明が必要。一方、令和6年度のプロポーザルで将来の機器購入を見据えた条件が示され、今回の契約額も当時の見積額に据え置かれている。契約をやり直す場合の財政的負担の増大や供用開始の遅れも懸念されるため、その影響を考慮し賛成。

古川 和博

子どもたちに安全安心な給食を一日も早く届けるため、給食センター整備を着実に進める必要がある。総務文教委員会では、契約の進め方や説明責任について慎重に協議されたが、これらの課題は今後の行政運営に生かすべきで、給食センター整備を進めることとは分けて考える必要がある。整備が遅れれば、試運転や機器の操作訓練にも影響してくる。議会として慎重に審議すると同時に必要な事業を前に進める責任があると考え賛成。

非核三原則の堅持を求める意見書

反対討論

永田 壮拡

核兵器のない世界を目指す理念や非核三原則の意義を否定するものではない。しかし、政府は現在も非核三原則を堅持する方針を明確にしている。国際情勢や安全保障環境が変化する中、将来の政策については、その時々の情勢を踏まえ、国会と政府で責任ある議論が行われるべきである。本市議会から「将来にわたって断固として堅持」するよう国に強く要請することについては、慎重に判断すべきであり反対。

服部 香代

非核の理念は尊重するが、緊迫する国際情勢のなかで国民の命を守るには、現実的な防衛・安全保障の視点が不可欠。意見書にある「断固として堅持」という強い表現は、将来の外交の選択肢や、予期せぬ事態への柔軟な対応を狭めてしまう恐れがある。国の防衛政策に対して、一方向の極端な表現で要望することは地方議会として適切ではないと考え反対。

賛成討論

古家 茂臣

世界各国で戦争や紛争が続き、我が国を取り巻く安全保障環境も厳しい中、平和維持に関し様々な議論があることは了知。山鹿市は平成22年9月17日に「非核・平和都市宣言」を行っている。意見書は安全保障に関する個々の政策の賛否を求めるものでなく、非核三原則の堅持を求めるものである。県内では水俣市、菊陽町が可決しており、山鹿市も市議会として非核三原則の堅持を国に求めることに賛成。

芋生 よしや

「持たず、作らず、持ち込ませず」は、歴代政府堅持の基本政策。高市首相が安保3文書改定に向け、見直しを含め「当然、議論の俎上に載せる」と表明。小泉防衛相はネット番組で、「あらゆる政策をタブーなく議論し、進めねばならない」と語った。三原則見直しは、米国の核戦略への加担をさらに深め、日本を核戦争に巻き込む危険を高める。こうした愚行を絶対に許さない、党派を超えた運動を大きく広げていくことが急がれ賛成。